



育てよう 一人ひとりの 人権意識 —人権週間街頭啓発・南丹市人権講演会—



▲ピラなどを配り人権意識の高揚を呼びかけました

十二月四日から十日までの人権週間、「育てよう 一人ひとりの 人権意識」の思いやりの心・かけがえのない命を大切にすることをテーマに、全国各地で人権意識の高揚に向けたさまざまな取り組みが進められました。

南丹市では十二月七日に市内の九カ所で街頭啓発を行い、市人権擁護委員や市職員らが参加して、市民に啓発のピラとカイロ、クリーナーを配りました。

また、市民一人ひとりが人権について考え、正しい知識を身につけてもらうようと、翌



▲自身の体験などを話される桂こけ枝さん

八日には南丹市国際交流会館のコスモホールで、南丹市人権講演会を行いました。

講演会は、落語家の桂こけ枝さんを講師に迎え、「こけ枝のほのほの人権ばなし」と題して行われました。

桂さんは、先天性股関節脱臼である自身の体験などから、「社会が一つになって、人権の問題を考えていかなければならない。また、人権問題を考えるうえで、一人ひとりに合わせた配慮を考えていくことが大事である」と話されました。最後には高座を設け、落語「ちりとてちん」を披露。訪れたおおよそ二百人の出席者は、話に聞き入っていました。

四月一日に南丹市 商工会が誕生

—南丹市内商工会
合併契約調印式—

十二月十九日、南丹市内の四つの商工会の合併契約調印式が南丹市国際交流会館で行われました。

南丹市の合併に伴い、園部町・八木町・日吉町・美山町の各商工会では、南丹市地区商工会合併協議会を平成十九年六月十五日に発足。商工会の合併に向けた協議を重ねられ、本年四月一日に「南丹市商工会」が設立されることになりました。

調印式では、各商工会長が「商工会合併契約書」に署名、押印されました。



▲契約書に押印する各商工会長ら



市内を啓発して回ったパレード

交通事故防止の 徹底を呼びかける —年末の交通安全 防止府民運動—

十二月十一日から三十一日にかけて、京都府交通対策協議会による、年末の交通事故防止府民運動が京都府内の各地で行われました。

南丹市でも、交通ルールを守り、正しい交通マナーを日ごろから行うことで、交通事故防止の徹底を呼びかける啓発パレードを十一日に行いました。パレードには、南丹船井交通安全協会南丹支部の会員や南丹警察署、市職員が参加し、市内全域をパレードして市民に交通安全を呼びかけました。